

研究者リーダーシップ・プログラム

「第6回キャリアアップのためのアクションプラン-Step2」参加レポート

第6回 研究者リーダーシップ・プログラムは、第4回でご講演いただいた株式会社キャリアデザイン 樋口貴子先生に再びお越しいただいた。短、中、長期の目標を設定した前回に対し、今回はより短期目標と行動計画を明確にすることを目的とした講義であった、と私は認識している。

今回は事前に『アクションプランシート』と呼ばれるエクセルシートに「取組課題と目標設定、有効な資源の洗い出し、取り組み計画」を記入、更にそれを参加者全員の前で発表し、先生と対話する形で講義が進行した。長いポストドクとしての仕事が片付きつつあり、同時に特任助教として新たなステージを踏み出す私個人にとって、アクションプランを立てるには絶好のタイミングであった。

しかし、いざ事前課題に向き合うと、パソコンの前で暫くフリーズしている自分に気付く。正月中に寺社仏閣にせつせと通い、「良い年になりますように!」と強い気持ちを込めてお祈りを繰り返した私であったが、こと目標設定となると、いったい今年は何を成し遂げたい年であるのか、非常に漠然としていることに気づく。ちなみに第4回の講義で私は、テニユア教員になることを中期目標として掲げていたが、それに繋がる短期目標を立てることの方が意外と難しい。とりあえず、喫緊にしなければならないタスクを列挙していった。

発表を通して確信していくが、直近の目標がぼんやりしている原因のひとつとして、特に実験でマルチタスクが行き過ぎていることが挙げられた。こなしたい実験が多すぎて、意識が分散し、新年の大きなテーマを設定できていないのである。実際に目標を書き出してみると、こんなに仕事があるのか、と半ば恐怖したが、新年早々に何をクリアすべきか明確にできたことは非常に良かったと思う。むしろ仕事が増えていることは、自分と仕事をしたい人間が増えていることの証左と考え、前向きにこなしていきたい。

今後は、事前課題に記入した課題や目標をクリアできているのか時々確認し、反省と修正を繰り返しながら、とりあえずはテニユア教員になるという目標に向かって着実に進めているのか確認したい。このように立ち止まって考える貴重な機会をいただいた樋口先生に感謝申し上げます。

(高木紘・名古屋大学遺伝子実験施設 研究員)